

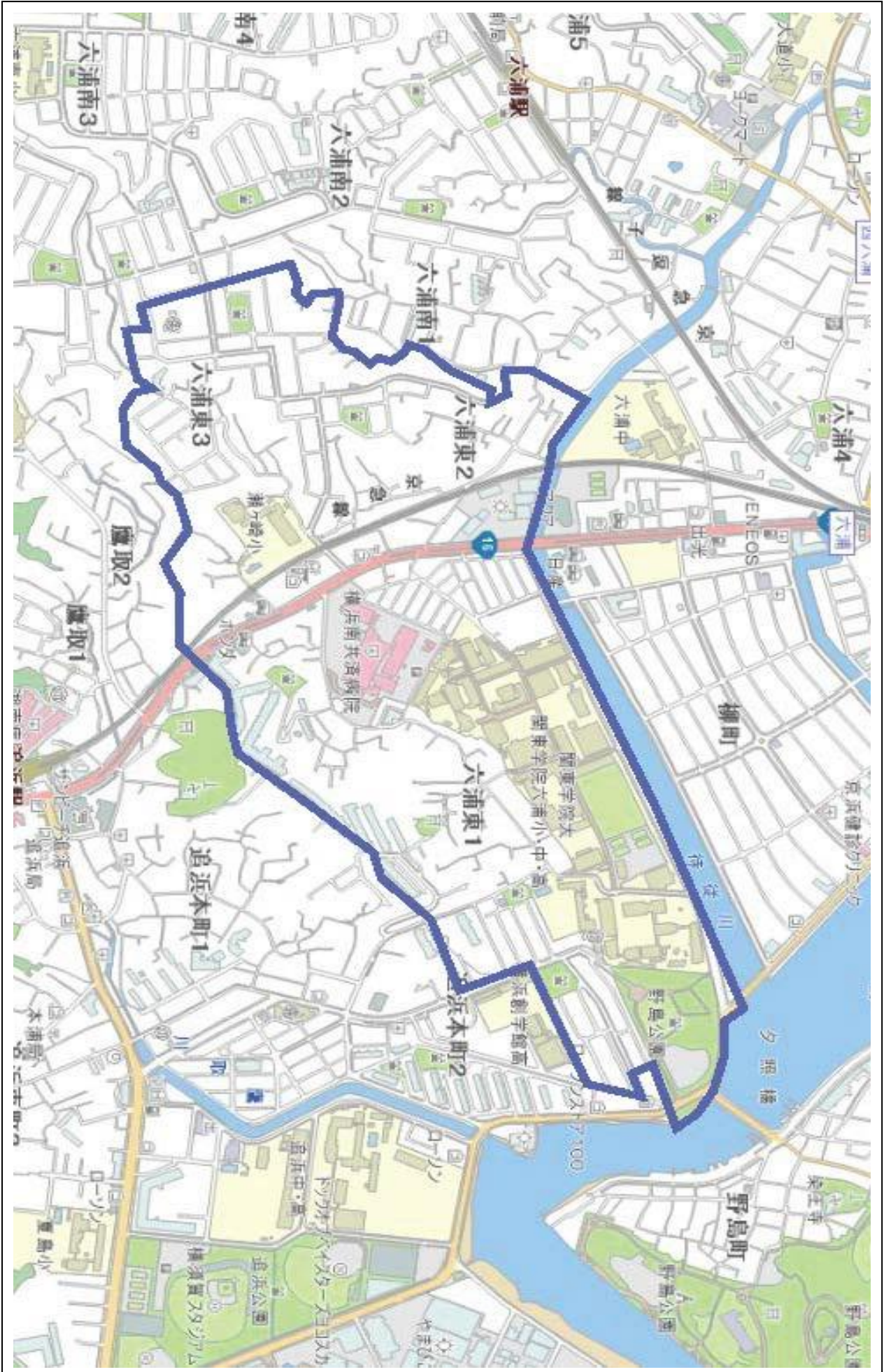
六浦東地区 地域緑化計画書

計画名：六浦東地区地域緑化計画

推進団体名：六浦東みどりアップの会



地区の範囲



<p>計画期間</p>	<p>令和5年度 ～ 令和7年度</p>
<p>計画の目標</p>	<p>《提案計画の目標》 「ガーデンシティ六浦東」</p> <p><具体的な目標></p> <p>①日常的に花を育てる活動を通して「多世代の繋がり」を育てる 住宅の玄関先や店舗の店先、国道の街路樹の足元など、多様な街路空間に花や緑を植える活動を通して、子どもから高齢者までの幅広い交流のキッカケとなる。 ……………[計画番号:4・5・6・7]</p> <p>②「木陰ネットワーク」が楽しい交流を生み出す 新たな楽しい木陰空間の創出により、六浦東のあちこちに点在する既存の緑地を繋げ楽しく歩ける緑のネットワークを強化する。……………[計画番号:1・2・8・9・10・11]</p> <p>③緑化活動を地域生活の基盤の一つとし、地域プライドを育てる 一人ひとりの住民の「自分たちの街は自分たちで整備する」という感覚を育てる事で地域に対する愛着が生まれ、「六浦東プライド」を育てる。……………[計画番号:3・4・6]</p>
<p>目標達成のための方法および地域にもたらす効果</p>	<p>① 日常的に花を育てる活動を通して「多世代の繋がり」を育てる 商店の店先や住宅の玄関先にフラワーポットやハンギングバスケット等を設置し、エリアごとに協議して選んだ花や緑を植栽する。またお互いの街を見学する「ガーデンツアー」を実施することで近隣住区同士の住民交流を促すとともに、緑化技術の情報共有の機会をつくる。 横浜南共済病院の広場状公開空地の一部に、ラベンダーやハーブ等を植栽し地域の住民グループが主体となって育てる。季節の折々に地域イベントを開催し、子どもから高齢者まで多世代の地域交流を生むと共に、植物の多様な利用技術を街ぐるみで習得。地球環境の保全の大切さを理解し、保全活動意識をさらに高める。 …[計画番号:4・5・6・7]</p> <p>② 「木陰ネットワーク」が優しく楽しい交流を生み出す 雑草が生い茂る緑地にコナラ、クヌギ等を植栽し雑木林とすることで、隣接する炎天下の道路空間を木陰空間に変える。更に地域予算によるウッドデッキ等のストリートファニーチャーを設置することで、住民が集える滞留空間に生まれ変わる。滞留空間では、地域の小学生と協働し掲示板等の交流装置を設置したり、花鉢を育てたりすることで、新たな多世代交流のきっかけとなる。 また、新たに植栽された落葉樹から生み出された落ち葉を集めて腐葉土に再生する「土の工場」を創る。住民はこの活動を通して生態系の一部に自分達の緑化行動が組み込まれていることを体験的に学び、その価値は次世代に継承されるとともに、六浦東地区に対する愛着となる。……………[計画番号:1・2・8・9・10・11]</p> <p>③ 緑化活動を地域生活の基盤の一つとし、地域プライドを育てる 交差点に接する小さな空地に花の咲く樹木を植栽することで、子ども達の通学時の待合スポットが生まれる。子どもたちは日々変化する花や葉っぱの様子を観察することで、日常的に季節の変化を楽しみ、樹木や虫などの観察などを通して科学の目を育てる。また、地域の大人と一緒に花や木々の手入れをすることで、自然環境の大切さにも気づき、創造力、工夫をする力など「非認知能力」の向上が期待できる。子どもにとって異年齢の交流がより深まることで、思いやり協調性が育ち、共に育ったこの地域を愛し、自己肯定感が高まる。……………[計画番号:3・4・6]</p>

<p>組織づくり</p>	<p>1) 組織づくりは人材づくりから。人材づくりはワクワクづくりから 「ガーデンシティ六浦東」の活動を長く継続するには、「楽しい！」と感じる活動を通して多くの住民が緑を愛し、地域貢献しているという充実感が大切だと考えている。他地域の成功事例見学や専門家による講習会等はもちろん、ワークショップ等のイベントなど「ワクワク」する活動を企画・実行し、子どもから高齢者まで幅広く活動できる人材を育てたい。若い力として関東学院大学の学生との協働も有効だと考えている。</p> <p>2) 既存の組織を最大限に活用する 六浦東連合町内会が主体となって、「ガーデンシティ創造チーム」を結成。既に活動している公園愛護会と連携、日常的な管理運営を行う。また六浦東地区で長年活動している「人材マップ」連絡会を通して、花の生育を指導出来る人材を掘り起こし、次世代の地域リーダーを育てたい。定期的に「ガーデンシティ連絡会議」を地域拠点「もりのお茶の間」にて開催するとともに、その様子を広く広報（掲示板・ネット）していく。</p>
<p>計画期間中の緑化整備及び活動の概要について</p>	<p><民有地緑化> 多様な花や緑のまちづくりのために、住戸の玄関や商店街の店先・エントランスでのフラワーポット植栽では、住民が地区ごとに特徴のある花を選択。花を育て愛でながら季節を感じ、住民一人一人が「ガーデンシティ六浦東」を作る担い手であることを実感。隣接地域の植栽を見て回る「オープンガーデン」を開催。花や緑の情報共有や地域同士の交流を深める。</p> <p><景観木保全> 16号線沿いの商店街に位置する銭湯「みなと湯」のエントランス周辺は、地域住民のほっとする滞留空間であり、そこに植栽されたイチョウ、モミジ、桜等の古木は街並みにとって重要な景観木である。専門家と住民の協働で、これらの貴重な地域遺産である樹木の保全を図る活動を行う。</p> <p><地域緑化活動> 小学生から高齢者までが交流出来る、専門家との勉強会的な緑化イベントを毎月開催する。広報活動は町内会の掲示板に「花とみどりのふれあいコーナー」を常設。連合町内会発行のポスターを常時掲示するだけでなく、インターネット掲示板を使った広報も充実させることで、毎月の緑化イベントの予定と報告を常に発信することで、住民にとって緑化活動が生活のリズムとなり、多世代の住民の参加機会や交流の場を増やす。緑地は防災の面からも有効であり、緑化活動を通じて住民の防災意識や助け合いの下地作りにも寄与できる。幅広い世代の住民がこの活動に参加することが、住民自身のプライドとなり、そこで育った子どもたちが「ガーデンシティ六浦東」に住み続けたいと考える意識を醸造する。</p>
<p>計画期間終了後の活動について</p>	<p>(※) 六浦東の地域力は、横浜南共済病院や瀬ヶ崎小学校、関東学院大学、商店街など既存組織との連携で永く強化されてきた。この関係は、当計画の終了後「5年間」を超えても永く継続されることは明白である。活動戦略の一部は下記の通りである。</p> <p>1) 六浦東連合町内会を主体として 計画期間の体験を元に、次世代に植栽技術を共有し人材を育てる活動は、「人材マップ(注)」連絡会を通して実施。また、地域拠点「もりのお茶の間」では、花やみどりの育て方など楽しく学ぶ講習会を定期的で開催し、より広く緑化の価値が地域住民に周知され、多くの新しい関係人口の増加を目指す。[(注)2015年「まち普請事業」参照]</p> <p>2) 小学校、大学などの組織を主体として 計画期間終了後も小学校の「総合的な学習の時間」のカリキュラムの一部として、連合町内会との協働イベントを継続。また大学生との活動も研究室ごとに様々なプログラムを企画運営することで、大学生の社会体験としても有意義な場となる。</p>
<p>資金計画</p>	<p>1) 継続的な施設の管理について 当計画によって植栽された樹木の管理（整枝剪定・除草、等）は、連合町内会住民の緑化活動によって継続される（既に瀬ヶ崎小学校内の校内林「アスレの森」の管理活動において実績を積んでいる）。またフラワーポット等、民有地に設置された軽微な物品の破損が発生した場合は連合町内会の資金により修復し継続的に街並み保全を試みる。</p> <p>2) 永続的な地域の活動について 横浜南共済病院の敷地内でのマルシェ等イベントは、連合町内会と病院の共催で活動資金を充てる。関東学院大学の研究室の自主財源で設置したベンチなどストリートファニーニチャーは、連合町内会と大学との協働イベントを通して補修・管理資金に充てる。</p>

計画年次	計 画 内 容
<p>1年度目 (令和5年度)</p>	<p>【民有地緑化】・[計画番号:1&2]の設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「木漏れ日かがやく「どんぐり通り」(中高木等×20本程度)……………[計画番号:1] ・「ケヤキの元、人々集う芝生広場」(中高木等×10本程度)及び既存井戸水利用灌水施設の設置……………[計画番号:2] ・「花とみどりのプロムナードRoot16」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×20個程度)……………[計画番号:4] ・「花々と子どもの笑顔が広がる通学路」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×10個程度)……………[計画番号:5] ・「花々ゆれる「スマイル」タウン」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×20個程度)……………[計画番号:6] <p>【景観木保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「古木広がるみどりのオアシス」等の樹木医による診断書の作成等 (景観木×8本程度)……………[計画番号:8] <p>【地域緑化活動】・整備した緑化施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家を招聘し緑化の技術習得。他地域への見学会。広報紙を町内掲示板に掲出。
<p>2年度目 (令和6年度)</p>	<p>【民有地緑化】・[計画番号:3&9]の設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハーブ香る憩いの芝生広場」(ラベンダー、ハーブ等×500株程度)……………[計画番号:3] ・「花とみどりのプロムナードRoot16」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×20個程度)……………[計画番号:4] ・「花々と子どもの笑顔が広がる通学路」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×10個程度)……………[計画番号:5] ・「花々ゆれる「スマイル」タウン」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×20個程度)……………[計画番号:6] ・「白い花咲く交差点」(中高木等×5本程度)……………[計画番号:7] ・「緑風そよぐ木漏れ日公園」(中高木等×10本程度)……………[計画番号:9] <p>【景観木保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「古木広がるみどりのオアシス」等の樹木医診断による治療及び環境整備(6本程度) <p>【地域緑化活動】……………[計画番号:8]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備した緑化施設の維持管理 ・専門家を招聘し緑化の技術習得。他地域への見学会。広報紙を町内掲示板に掲出。
<p>3年度目 (令和7年度)</p>	<p>【民有地緑化】・[計画番号:10&11]の設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハーブ香る憩いの芝生広場」(ラベンダー、ハーブ等×500株程度)……………[計画番号:3] ・「花とみどりのプロムナードRoot16」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×20個程度)……………[計画番号:4] ・「花々と子どもの笑顔が広がる通学路」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×10個程度)……………[計画番号:5] ・「花々ゆれる「スマイル」タウン」 (ハンギングバスケットやフラワーポット等×20個程度)……………[計画番号:6] ・「白い花咲く交差点」(中高木等×5本)……………[計画番号:7] ・「子どもたちの歓声が聞こえるケヤキ公園」(中高木等×10本程度)……………[計画番号:10] ・「川面に映るやさしい木陰」(中高木等×3本程度)……………[計画番号:11] <p>【景観木保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内民有地における景観木の樹木医診断及び治療3本程度。銘板の設置等(10本程度) <p>【地域緑化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備した緑化施設の維持管理 ・専門家を招聘し緑化の技術習得。他地域への見学会。広報紙を町内掲示板に掲出。
<p>創意工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもから高齢者まで全ての世代が参加できる計画とした。 2) 地域にある様々な施設(病院、大学、小学校等)の緑化を進めることで、既存の複数の緑地を繋ぎ、人々が花と緑を永く楽しめる「豊かな」回遊空間とする。 3) 多くの落葉樹を植樹することによる落葉は地域住民が定期的に回収し腐葉土化され、地域の植栽活動用の「腐葉土」として再生・活用される。

「ガーデンシティ六浦東」計画番号①～⑪

計画番号⑩ 子どもたちの歓声が聞こえるケヤキ公園

計画番号① 木漏れ日かがやく「どんぐり通り」

雑木 (落葉) (コナラ・クヌギ等)
大学 病院
デッキ → 遊歩 (出会い) → 見守り
→ 小学生が通る
マウンド

計画番号⑪ 川面に映るやさしい木陰

新植! 「木陰創出!」
ネムノキ
プランコ
バス
(芝生スロープ)

計画番号② ケヤキの元、人々集う芝生広場

ケヤキ 新植 (シンボル)
既存
マウンド 「座りたくなる」

計画番号③ ハーブ香る憩いの芝生広場

ピザ窯 (別予算) 既存 生垣
ハーブ・野菜 ハーブ・野菜
デッキ広場 (別予算)

計画番号⑤ 花々と子ども笑顔が広がる通学路

ツタ類 (フェンス緑化) (線的)
既存
ハンギング 植栽 (花) 点的
(小学校) ← (道路)

計画番号⑧ 古木広がるみどりのオアシス (景観木)

「樹木のトンネル」 夏、涼しい!
樹木図による再生・保全
イチヨウ (古木) (店舗) (店舗)

詳細

「景観木」(配置図)



六浦東「指定景観木」候補

①	カキ	5m	⑧	サクラ	1.2m	⑮	サクラ	8m
②	サクラ	8m	⑨	マツ	7m	⑯	サクラ	8m
③	サクラ	4m	⑩	モミ	5m	⑰	ザクロ	4m
④	イチヨウ	1.2m	⑪	モミ	8m	⑱	レモン	4m
⑤	イチヨウ	1.2m	⑫	イチヨウ	9m	⑲	イチヨウ	1.4m
⑥	スギ	1.3m	⑬	サクラ	1.0m	⑳	ケヤキ	1.6m
⑦	モミジ	1.0m	⑭	サクラ	7m			

計画番号⑨ 緑風そよぐ木漏れ日公園

木陰を創る!
コナラ クヌギ
集会所 (室の木)
現在は、炎天下... 誰もいない...

計画番号⑦ 白い花咲く交差点

街角に花の咲く樹木を!
(子ども達の季節の話題)
登校時の 集会所として!
見守る住民
(道路) (私有地)

計画番号⑥ 花々ゆるる「スマイル」タウン

会話が生まれる!
ハソクヅク (育てる) 9号ロード
住宅 住宅
民地 既存 民地

計画番号④ 花とみどりのプロムナード Root16!

店先のフラワーポットを 街路樹 (ユリノキ) 住民と一緒に管理!
街路樹の足元植栽は、国交省が検討中! (別事業)
私有地 歩道 国道16号線

概算事業費（単位：千円）（注1,5）

助成項目	細目	1年度目（令和5年度）	2年度目（令和6年度）	3年度目（令和7年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	400	400	200	1,000		100%以内
		(主な内容) [1]「木漏れ日かがやく「どんぐり通り」」及び [2]「ケヤキの元、人々集う芝生広場」の設計・監理	(主な内容) [3]「ハーブ香る憩いの芝生広場」、 [9]「緑風そよぐ木漏れ日公園」の設計・監理	(主な内容) [10]「子どもたちの歓声が聞こえるケヤキ公園」、 [11]「川面に映るやさしい木陰」の設計・監理			
	②緑化整備等経費 (注2)	4,074	3,678	4,078	11,830		90%以内
		(主な内容) [1]「木漏れ日かがやく「どんぐり通り」」、 [2]「ケヤキの元、人々集う芝生広場」、 [4]「花とみどりのプロムナードRoot16」、 [5]「花々と子どもの笑顔が広がる通学路」、 [6]「花々と子どもの笑顔が広がる通学路」、 [6]「花々ゆれる「スマイル」タウン」等の実施	(主な内容) [3]「ハーブ香る憩いの芝生広場」、 [4]「花とみどりのプロムナードRoot16」、 [5]「花々と子どもの笑顔が広がる通学路」、 [6]「花々ゆれる「スマイル」タウン」、 [7]「白い花咲く交差点」、 [9]「緑風そよぐ木漏れ日公園」等の実施	(主な内容) [3]「ハーブ香る憩いの芝生広場」、 [4]「花とみどりのプロムナードRoot16」、 [5]「花々と子どもの笑顔が広がる通学路」、 [6]「花々ゆれる「スマイル」タウン」、 [7]「白い花咲く交差点」、 [10]「子どもたちの歓声が聞こえるケヤキ公園」、 [11]「川面に映るやさしい木陰」等の実施			
合計額 (注9)	概算事業費 4,474 (助成見込額) (4066)	概算事業費 4,078 (助成見込額) (3710)	概算事業費 4,278 (助成見込額) (3870)	12,830 (11,646)			
2 景観木保全	①調査費	0	0	200	200		100%以内
	②診断書作成費	160	0	100	260		100%以内 (上限20千円/本)
	③治療費	0	240	150	390	③と④は各景観 木1本につき、 合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/本)
	④環境整備費	0	50	0	50		100%以内 (上限50千円/本)
	合計額 (注9)	概算事業費 160 (助成見込額) (160)	概算事業費 290 (助成見込額) (290)	概算事業費 450 (助成見込額) (450)	900 (900)		
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	174	400	80	654	①～④の合計 1,000千円以内 /年度	100%以内
	②広報・研修費	460	460	460	1,380		100%以内
	③事務費	100	100	100	300		100%以内 (上限100千円/年度)
	④諸雑費	40	40	40	120		100%以内 (上限40千円/年度)
	合計額 (注9)	概算事業費 774 (助成見込額) (774)	概算事業費 1,000 (助成見込額) (1000)	概算事業費 680 (助成見込額) (680)	2,454 (2,454)		
年度ごとの合計 (注4,6,7,8)	概算事業費 5,408 (助成見込額) 5,000	概算事業費 5,368 (助成見込額) 5,000	概算事業費 5,408 (助成見込額) 5,000	16,184 15,000	総合計	助成見込額の3年度の 総合計が15,000千円以内	

- (記入時の注意事項) 注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。
- 注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）
- 注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。
- 注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は3年度で15,000千円が助成金額の上限となります。
- 注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）
- 注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。
- 注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）
- 注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（2年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）
- 注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（）を付けてください。